

## 令和2(2020)年度 学術変革領域研究(A) 領域計画書

令和 2年 3月12日  
0版

<b>審査希望区分</b>		<b>整理番号</b>	A22089	
<b>仮領域番号</b>	AGU3C	<b>領域略称名</b>	統合知で国難回避	
<b>応募領域名</b>	21世紀の国難災害を乗り越えるだけのレジリエンスを確保できる防災統合知の構築戦略			
<b>英訳名</b>	Development of Strategy for Resilience innovation for overcoming catastrophic disasters in the first half of the 21st century			
<b>領域代表者氏名</b>	(フリガナ)	ハヤシ ハルオ		
	(漢字等)	林 春男		
<b>所属研究機関</b>	国立研究開発法人防災科学技術研究所			
<b>部 局</b>	その他部局等			
<b>職</b>	理事長			
<b>応募領域の研究概要</b>	21世紀前半の国難災害を乗り越えるには従来の防災・減災研究の延長では不十分であり、新しい防災・減災学の確立が必要であるとして、我が国の防災研究の中核である15機関が結集して構築した「防災減災連携研究ハブ」の議論を踏まえて、本申請をしている。本領域研究は、総括班、5つの計画研究、および公募研究から構成される。計画研究として、南海トラフ地震、首都直下地震、首都圏広域水害という3つの個別具体的な国難級災害研究とそれらの共通点を探る国難級災害の統合的研究を並行して推進し、その成果を収納する革新的なデータ、シミュレーション統合とリスクコミュニケーション機能を有する「災害知の統合知識ベース」を開発する。			
<b>関連研究分野(小区分)</b>		<b>(1)</b>	<b>(2)</b>	<b>(3)</b>
	<b>小区分</b>	25030	10010	62020
<b>小区分名</b>		防災工学関連	社会心理学関連	ウェブ情報学およびサービス情報学関連
<b>研究の対象</b>	(1) 既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指すもの。			
<b>過去の採択領域等からの発展</b>	過去に「新学術領域研究(研究領域提案型)」又は他の研究費において採択された研究領域を更に発展させる提案		該当する 該当しない	

研究組織

番号	研究区分	研究課題名	研究期間	代表者氏名 (年齢)	所属研究機関 部局 職	構成 員数
001	総括班	21世紀の国難災害を乗り越えるだけのレジリエンスを確保できる防災統合知の構築戦略	令和2年度～令和6年度	20164949 (68) 林 春男	国立研究開発法人防災科学技術研究所 その他部局等  理事長	5  人
002	研究項目A01 計画研究	南海トラフ地震津波の被害軽減に向けた科学的情報と社会対応力の統合的向上	令和2年度～令和6年度	30443568 (41) 鈴木 進吾	国立研究開発法人防災科学技術研究所 災害過程研究部門  主幹研究員	5  人
003	研究項目A02 計画研究	首都直下地震発生時の安全な避難行動選択の構築	令和2年度～令和6年度	00251455 (56) 酒井 慎一	東京大学 地震研究所  准教授	5  人
004	研究項目A03 計画研究	首都圏広域水害発生時における人々の安全確保に関する研究	令和2年度～令和6年度	70402930 (41) 佐山 敬洋	京都大学 防災研究所  准教授	5  人
005	研究項目A04 計画研究	災害知の統合知識ベースの開発と概念実装	令和2年度～令和6年度	40161509 (64) 喜連川 優	東京大学 生産技術研究所  教授	10  人
006	研究項目A05 計画研究	国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス向上方策の検討	令和2年度～令和6年度	20164949 (68) 林 春男	国立研究開発法人防災科学技術研究所 その他部局等  理事長	5  人